

## 関西福祉科学大学 教育後援会 会長挨拶

関西福祉科学大学 教育後援会会長を務めさせていただいております森島研次と申します。保護者の皆様、ご息様 ご息女様のご入学 誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

また、この度の新型コロナウイルス感染拡大の影響による被害を受けている皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、少しでも早く終息に向かうことを願っております。

さて、保護者の皆様方には4月1日より会員となりましたことをご歓迎申し上げます。本学の教育後援会は、学生の保護者の皆様を会員とした組織で、「学生の学業およびキャリア形成への支援、並びに学生の課外活動および相互扶助精神に資する支援、さらに本学の教育研究振興に寄与する」ことを目的としております。平成17年に設立され今年で16年目と、まだ歴史は浅いものの、現在、約2,500名を超える会員を擁し、25名の役員・委員で運営されております。

教育後援会は、二つの柱を中心に活動を続けております。

1つ目は、会員の皆様方に対して大学の情報を正確にご提供し、大学をよく理解していただくことと、会員の皆様方相互の連絡、協調に関することです。そのため、例年 春には教育後援会「総会」を開催し、秋には本学キャンパス内及び地方会場として、那覇市、和歌山市、高松市において「教育懇談会」を開催してまいりました。

今年度も5月30日（土）に「総会」を10月31日（土）には「教育懇談会」を開催する予定にしておりますので、ご参加の程よろしく願いいたします。

その他、広報誌「感恩のこころ」の発行やホームページを通じて、会員の皆様方に大学や教育後援会の実情を理解していただくよう努めております。

2つ目は、大きな夢を抱いて入学された学生さんを側面から援助することです。

具体的には、国家資格等の資格取得支援などを通じ、大学教育の目的が十分達成されるよう努力しております。併せて、大学との協調のもと、就職活動の支援にも積極的に取り組んでいます。

また、奨学金支給規則を設け、やむ得ぬ事情で家計が急変するなどして、修学が困難になった学生さんに対し奨学金を支給するなど、相互扶助精神に資する支援も行っております。

今、社会や経済の取り巻く環境は、以前厳しい状況が続いております。こうした中で、教育後援会の担うべき役割も、以前にも増して重要になってくるのではないかと考えております。

今年は、これまで実施してきました諸事業をますます充実させると共に、保護者の視点から、大学の行なう施策へのお願いや進言などを行っていきたいと考えております。

会員の皆様におかれましては、教育後援会が開催します行事に積極的にご参加いただき、お気付きの点などございましたら、ご遠慮なくご意見をお聞かせいただければ幸甚でございます。また、キャンパスにも足をお運びいただき、関西福祉科学大学の一員として、ご息様、ご息女様と共にキャンパスライフをお楽しみいただければと考えております。

学生の皆さんに「関西福祉科学大学で学んでよかった」と言われるだけでなく、保護者の皆様にも「関西福祉科学大学で学ばせてよかった」と言っていただけるように、大学と協力して後援会活動を進めて行きたいと考えております。

最後になりましたが、教育後援会の円滑な活動は、会員の皆様の深いご理解と暖かいご支援なくしては成し得ません。本日、新たに会員になられました皆様のお力添えを心からお願い申し上げますとともに、関西福祉科学大学ならびに教育後援会の更なる発展のために、ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

以上